

平成 25 年 9 月 教育委員会定例会会議録

1 開会の日時

平成 25 年 9 月 20 日（金） 午前 9 時 30 分

2 出席委員

三 浦 溥太郎	委員長
齋 藤 道 子	委員長職務代理者
森 武 洋	委員
三 塚 勉	委員
永 妻 和 子	委員（教育長）

3 出席説明員

教育総務部長	渡 辺 大 雄
教育総務部総務課長	大 川 佳 久
教育総務部教育政策担当課長	菱 沼 孝
教育総務部生涯学習課長	原 田 修 二
教育総務部教職員課長	栗 原 裕
教育総務部学校管理課長	菅 野 智
学校教育部長	小田部 英 仁
学校教育部教育指導課長	渡 辺 文
学校教育部支援教育課長	三 浦 昭 夫
学校教育部学校保健課長	藤 井 孝 生
学校教育部スポーツ課長	伊 藤 学
中央図書館長	小 貫 朗 子
博物館運営課長	稲 森 但
美術館運営課長	佐々木 暢 行
教育研究所長	市 川 敦 義

4 傍聴人 0名

## 5 議題及び議事の概要

- 委員長 開会を宣言
- 委員長 本日の会議録署名人に三塚委員を指名した。
  
- 日程第4及び報告事項(6)を追加審議することを提案、「総員挙手」をもって追加審議することを決定。
  
- 日程第3、日程第4及び報告事項(6)は秘密会とすることを提案、「総員挙手」をもって秘密会とすることを決定。
  
- 教育長報告  
前回の定例会から本日までの報告事項

(永妻教育長)

それでは平成25年8月17日から本日までの主な所管事項についてご報告いたします。

はじめに、8月21日(水)に諏訪小学校にて、開催しました『Yokosuka English World』についてです。本イベントの趣旨は、子どもたちが、英語を使って外国人や友だちと活動することを通して、コミュニケーションの楽しさを体験し、英語学習に対してより一層関心が深まることをねらいとしています。抽選によって選ばれた市立小学校に在籍する5年生・6年生約100名が参加しました。参加児童は、『Yokosuka English World 版パスポート』を持ち、英語による入国審査などを行った後、グループごとに、ネイティブスピーカーがコーディネートする各ブースで、ゲームやダンス、理科の実験などの活動を体験しました。コミュニケーションの手段は、英語とジェスチャーだけということで、最初は緊張していた児童も、さまざまな活動を仲間と体験する中で、少しずつ楽しんで参加する様子が見えられました。また、今回は、横須賀総合高校の生徒が各グループのリーダーとなり、児童が安心して参加できるようリードしてくれました。参加した児童からは、「英語を話すことに少しだけ自信がついた。」などの感想も寄せられました。

今後も各学校において、外国語教育の推進が図られ、英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする子どもたちを育成できるよう取り組むとともに、本イベントのような機会を通して、国際都市横須賀を担う人材の育成を図ってまいります。

続きまして、授業日数の増加についてです。3月の定例教育委員会でも報告いたしましたが、今年度は、小学校17校、中学校23校、ろう学校1校の計41

校が、長期休業日を活用して授業日を増加させる試行を行っています。

授業日数を増やすことで学力向上や豊かな心の育成に向け教育活動を一層充実させることを目的としていますが、試行した学校からは、次のような声が上がっています。小学校では水泳の授業や、夏休みに向けての課題について一人一人へ丁寧な指導が出来たこと、8月に授業日を設定した学校は、給食が再開されるまでの期間が長かったことで生活リズムを取り戻すことが円滑に行えたこと、中学校では、前期の期末試験や体育祭までの取組期間が確保できたこと等が大変有効であったということです。課題としては、サマースクール、校内研修の日程、熱中症や異常気象など健康面を考えると心配があるという声もいただいています。今年度の試行の状況も踏まえながら、今後も長期休業日の活用について検討していく予定です。

最後に、美術館の企画展について報告いたします。横須賀美術館で夏の企画展として実施しました『日本の「妖怪」を追え！』展ですが、7月13日から9月1日までの50日間の会期で開催し、昨年同時期の企画展よりも多い、約3万人のお客様にご観覧いただきました。この企画展は、幅広い層に受け入れられやすい「妖怪」をテーマにすることで、多くの方に興味を持っていただくことができ、また、同時期に「妖怪」をテーマにした展覧会を開催していた三井記念美術館、そごう美術館との3館で連携したことで、広域のお客様にも観覧していただいたものと考えております。

私からの報告は以上でございます。

(質問なし)

日程第1 議案第48号『平成26年度横須賀市立ろう学校幼稚部及び高等部普通科の幼児及び生徒募集要項制定について』

委員長 議題とすることを宣言

(支援教育課長)

議案第48号、「平成26年度横須賀市立ろう学校幼稚部及び高等部普通科の幼児及び生徒募集要項制定について」ご説明をいたします。

本議案は、ろう学校幼稚部及び高等部普通科の平成26年度の幼児及び生徒の募集について定めるものでございます。

3ページをごらんください。最初に幼稚部の志願の資格ですが、記載がございます(1)から(3)の全てに該当する方が対象となります。募集人数は10名でございます。募集期間は平成26年1月8日から15日まででございます。

そして、必ず事前に学校見学及び教育相談を受けていただくこととなっています。

面接の日時は2月6日でございます。内容につきましては、本人の行動観察と保護者面接でございまして、入学決定者の発表はその場で保護者に伝える形をとらせていただきます。

次に、高等部普通科でございますが、志願の資格は同様に（1）から（3）の全てに該当する方が対象となります。

4ページをご覧ください。募集人数は8名でございます。期間は幼稚園と同様1月8日から15日まででございます。やはり、必ず事前に学校見学及び教育相談を受けることが必要でございます。

提出書類につきましては、お書きしたとおりでございますが、「神奈川県公立高等学校入学願書」及び調査書、面接シートでございます。選抜の方法につきましては、学力検査と本人及び保護者との面接で、日時は1月28日の午前中8時50分からスタートいたします。7の学力検査教科及び時間割については記載のとおりでございます。

合格発表と入学手続でございますが、2月4日火曜日、午後1時にろう学校の事務室で合格通知を手渡しいたします。その後7日以内に、所定の手続をとっていただいて、入学手続が完了いたします。問い合わせにつきましては記載のとおり、ろう学校としてございます。

以上をもちまして、議案第48号「平成26年度横須賀市立ろう学校幼稚園及び高等部普通科の幼児及び生徒募集要項制定について」の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

質問・討論なく、採決の結果、議案第48号は、「総員挙手」をもって、原案どおり可決・確定する。

日程第2 議案第49号『平成26年度横須賀市立幼稚園の園児募集要項制定について』

委員長 議題とすることを宣言

（教育指導課長）

議案第49号「平成26年度横須賀市立幼稚園の園児募集要項制定について」ご説明いたします。

本議案は、諏訪・大楠両幼稚園の平成26年度の園児募集について定めるものです。

3ページと5ページをご覧ください。最初に募集人員ですが、両園とも2年保育で諏訪幼稚園は25人、大楠幼稚園は35人です。入園資格は、ともに、「市内に住所を有し、平成21年4月2日から平成22年4月1日までに生まれた者」です。

次に、入園志願票受付期間・場所等以降につきましては、両園とも同一内容でございますので、3ページにお戻りいただきたいと思っております。受付期間は、11月1日から11月8日までの土日、祝日を除いて、入園志願票を受け付け、受付時間は午前9時から午後4時までです。定員を超えた場合には11日、月曜日に抽選を行い、入園予定者を決め、保護者・児童との面接を実施します。入園予定者につきましては、翌日の説明会に欠席するなど、辞退の申し出をしない限り、入園決定者となります。

4ページをご覧ください。12日、火曜日に入園決定者の発表と説明会を行います。

なお、入園料は8,000円、保育料は年額13万2,000円になります。

以上で、議案第49号「平成26年度横須賀市立幼稚園の園児募集要項制定について」のご説明を終わります。ご審議よろしくお願いいたします。

質問・討論なく、採決の結果、議案第49号は、「総員挙手」をもって、原案どおり可決・確定する。

#### 委員長 報告事項の聴取を宣言

報告事項（1）『横須賀市教育振興基本計画第2期実施計画（素案）及び教育アンケート報告書について』

（教育政策担当課長）

「横須賀市教育振興基本計画第2期実施計画（素案）及び教育アンケート報告書について」ご説明させていただきます。本日配付させていただいております、説明資料をごらんください。

（1）第2期実施計画（素案）についての概要ですが、第2期実施計画においても、『生きる力』の育成」を目指す学校教育編、「いつでも、どこでも、だれでも学べる社会の実現」を目指す社会教育編、「豊かなスポーツライフの実現」を目指すスポーツ編という3編と、各編に定める目標の構成は記載のとおりであり、第1期実施計画と同様なものとしております。

次に（2）の重点課題についてですが、「横須賀の子ども像」「目指す子どもの教育の姿」の実現に向けて、解決すべき課題を重点課題として位置づけてお

り、第2期実施計画では新たに「社会教育施設による学習支援の推進」を重点課題の1つとして設定いたしました。

これらの計画は、横須賀市の基本的な施策を体系的に示した、横須賀市基本計画及び実施する主要な事業を示した、横須賀市実施計画とそれぞれ計画期間を一致させるとともに、計画内容の整合性を図っております。

なお、教育委員会に係る、横須賀市第2期実施計画については市の政策推進部に提出し、現在査定中でございます。この査定結果により、計画内容の整合をはかる必要から、お示ししております、教育振興基本計画第2期実施計画（素案）につきましては、修正をすることとなりますことをご承知おきください。

恐れ入ります、資料の裏面をご覧ください。教育アンケート報告書についてです。

教育アンケートは第2期実施計画の策定や、今後の教育行政施策の展開の参考とするため、市民、保護者、児童・生徒、教員を対象に行ったものです。

調査期間、配布数と回収結果、選定方法は記載のとおりです。

簡単ではございますが、以上で「横須賀市教育振興基本計画第2期実施計画（素案）及び教育アンケート報告書について」説明を終わります。ご意見をいただきたくよろしく願います。

（三塚委員）

この素案の内容について質問いたします。それでは、何点かあるんですが、素案の14ページにかかわることなのですが、学力向上事業というところの中に、学力向上支援常勤講師という項目がありまして、来年度から10名、20名、30名、40名というふうに配置されているんですが、この方はどういうようなところに活用を図る予定なのか、ちょっと聞きたいんですけども。

（教育指導課長）

この常勤講師につきましては、小学校に入っていただくということを考えております。そして2つ、入っていただいた中で、進めていただきたいと思っております。1つは、各学校で学力向上担当者という者がおります。これまで、各学校では、学力向上プランというものを作成し、それを実施しながら学力向上を図ってきたわけですが、なかなかプランを立てること、それからそれを推進して、その結果どうであったかというところを分析していくという部分につきまして、なかなかそういう時間を確保することが、その担当者にはございませんでした。学校全体で取り組んではおりますけれども、やはり、誰かが中心になって進めていかなければいけないというところがあるのですけれども、そういう担当者の方に、各時間内にきちんとそういうような分

析をしながら、次のプランを立てていくという、時間を確保するというところで、常勤講師が入ることによって、一部授業を担当してもらおう。そういう形で、その学力向上担当者が持っている時間数を一部、その常勤講師が持って授業を進めるということの一つを考えております。

もう一つは、その常勤講師が入ることで、学力向上を進めていく上で、有効と思われるような、例えば、Team Teaching 授業、あるいは少人数授業、そういうものをより多様な形で進めていければ、いろんな学年、あるいは、いろんな内容のところで使って、いろんな教科ですね、で入っていただいて授業を進めていただくということで、学力向上を進めていこうという考えで、この常勤講師を入れたいというふうに考えております。

(三塚委員)

大体わかりました。かなり常勤ということですから、小人数学級に近い状態なのかなと、一瞬思いました。そうすると、少人数授業ではなくて、少人数学級の補充的なものをちょっとイメージしたのですが、それとは全く違うということではよろしいわけですか。

(教育指導課長)

こちらの想定としては、少人数指導、Team Teaching 授業、そちらを考えております。

(三塚委員)

それと 31 ページにある、学校支援員というのは、今やっている事業だと思うのですが、それとはまた違うのでしょうか。今、実際に先生たちを指導する方が何人かいらっしゃるよ、3人か4人。その 31 ページにある、学校支援員とはまた違うのでしょうか。

(学校教育部長)

学校支援員とはまた違うものでございます。

(三塚委員)

その内容はわかったのですが、その同じページのところに、横須賀市学習状況調査というのがありますよね。それもずっと、継続してやっているというふうに書かれているのですが、そこの注の 32 という内容なのですが、これは業者委託でやったと思うのですよね。ところがこの注意書きの方は県の、32 のところを見ると県の、昨年までやっていたそのままのところ書かれてい

るのですよね。ですから、注意書きのほうが正しいのかそれとも、ことしのことをずっと継続していくのかというところをちょっと確認したいです。

(教育指導課長)

申し訳ありません。118 ページにあります、注の 32、これは神奈川県が作成したという書き方でしておりますけれども、今年度行ったような、業者を委託しながら、横須賀市として進めていく学習状況調査を考えております。

(三塚委員)

わかりました。そうすると今年の、調査を継続していくというふうに考えていいということですか。

(教育指導課長)

そのとおりでございます。

(三塚委員)

横須賀の教育の中でも、特に大きな課題だと思うんですけれども、学力の向上というのは、大きく横須賀の特色として出していくために、大変手厚い提案だろうという部分です。財政的な予算措置などを是非、加速度的にお願いしたいなというふうに思います。

それから 2 点目なのですが、27 ページのこれも横須賀の教育の大きな特色になろうとしている、小中一貫教育の推進にかかわる部分なんですけど、ここもこの実施計画の 1 期、約 3 年が今、2 年半終わるんですけれども、学校現場の方はいろいろ推進したいという状況は非常に強く持っているんですけど、なかなか推進できる状況が改善しない、なかなか小中学校でも、打ち合わせを持つだけでも、なかなか打ち合わせもできないような状況がずっと続いているような状態なのですね。この計画を見ますと、28 年度には全市的に一斉に実施ができるかなという計画なのですが、その辺で、現場のほうで今、なかなか進められないのだけれども、その辺のあたりで、教育指導課あたりでどういうふうに、この辺の下地を組んで、学校のほうでその辺の改善が図られるような、手だてが打てるかどうか聞きたいのですけれども。

(教育指導課長)

小中を一体と捉えたという部分について、昨年度、フォーラム、シンポジウムを行い、今年も考えております。なかなか、一体と捉えた教育という部分の捉えがまだ不十分ではないかなということがまず一つあると思いますので、そ

それぞれの学校区というか、ブロックにおいて、それが進められるような形で、各ブロックのほうに、あるいは各学校にお話をしていくということが必要であると思いますし、今、先進的に進めている内容について、発信していただくということを通して、進めていきたいと考えております。

(三塚委員)

やはり小中一貫教育を打ち出したので、それをぜひ、学校現場も一体的に推進してほしいなといったところですね。今、ここにも書いてありますように、学力の向上とか、人間関係を形成する力の育成とか、あるいは自尊感情の高揚という、いいことが書かれているわけですね。恐らく予想すれば、これが多分、有効な手段になるだろうというふうに、皆さん思われているのですけれども、その辺をぜひ、一貫教育方向に本当に、全市一斉に取り組んでいるのだというところをできるだけ早めに、そのためには委員会としてもいろいろ、手だてが必要だと思うのですが、現場で困っている状況をぜひ、克服させながら、ぜひこれは推進していただきたいなと思うのですね。というのは、関係ないのだけれども、高校のほうでも中高一貫のいろいろ検討されている中で、やっぱり、小学校、中学校が一貫で横須賀は進んでいるよというのが、やっぱりあると、いろんな人からのいろんな賛成意見がもらえるのではないかと、そう思っています。

それから、3点目なのですが、32ページにかかわっての、人材育成の部分なのですが、非常に先生方の人材育成というのは、大きな課題にはなっていると思うのですが、人材育成を推進する教職員研修体系の構築ということで、研究所をメインにして、いろんなところで研修体制を組んでいると思うのですが、やはり先生たちを見ていて、自分がどういう研修をしたのだろうかという、その記録がないですよ。つまり、この年度にはこういう研修をしているのだという、恐らく自分で自己管理するための、研修記録みたいなものを先生たちが持っていれば、やっぱり自分のライフステージに沿った研修というものが把握できると思うのですね。つまり自分は、この時期になれば初任者とか中堅とか、もちろん、ミドルリーダーということもあると思うのですけれども、そういうところで、やっぱり、自分がどの研修に参加するとか、どういう研修が必要なのか、その見通しができますね。そういうものを先生たちが研修として、共有できるようなものを自分のライフステージで見通しが持てるような、そういうことも考えると、先生たちが、自分がどういう研修をしたのだろうかという、研修計画じゃないけれども、そういうものを自己管理できるようなことをちょっと考えてはいるのですが、その辺、新しい研修体系の見直しというのとあわせて、その辺も考えられないかなというふうに思うんですけど、その辺を

ちょっと聞きたいんですけども。

(教育研究所長)

貴重なご意見をいただきましたので、検討させていただきたいと思います。

(齋藤委員)

大変なアンケートをとっていただいて、それで、こういう素案をおまとめになって大変だったと思うんですが、アンケートについて、私の場合、質問というよりも印象かと思えますけれども、2点ほど話したいと思います。まず、アンケートの学校教育編とかいうのを拝見すると、保護者の方とか市民の方等の情報のやりとりというか、こちらから発信したい情報を保護者の方々が、十分に受け取ってくださってないような感じがするところがあるのですね。それで、自由記述欄のどこかにあったのですが、アンケートをやるのはいいのだけれど、そのアンケートの結果がどうなったのですかということをお教えしてほしいという意見があるのです。おそらく、ホームページとかそういうものに公表するという場合が多いと思うのですが、例えば、アンケート用紙の下にでも、この結果はいずれ、ホームページに発表しますとかいうのを一文でも入れていただければ少し違うかなということと、それから、例えば二学期制とかを何でやっているんだかがわからないという意見もあって、ですからやっぱり、教育委員会としてはいろいろ情報を発信しているつもりでも、必ずしも十分に受け取られていなくて、それは難しいんですけども、どうやって市民の方との、情報のやりとりをもっとうまくできるかということは、やはり、短時間では難しいと思うんですけども、ちょっとお考えいただくというか、我々としても考える必要があるかなというのが1点です。

それからもう1つは、せっかくこれだけのアンケートをおやりになったので、それをよりよく、今後の政策に反映するために、例えば、質問項目で、横須賀市の教育に対する評価というのがあって、例えば学校教育編の56ページで、小学校教育は「いい」ですか、「普通」ですか、「悪い」ですかとかいう欄があって、56ページの小学校教育が「よい」に比べて、「悪い」の方がやや高くなっているんですけども、こういうふうにアンケートの質問項目で「よい」とか「普通」とか「悪い」、わからないというときは、「よい」のほうがいいのかもかもしれませんが、特に「悪い」という評価をつけた方は、何で悪いんですかという理由までどこかに書いていただければ、それがその後の改善にあるいは結びつけられるかなということで、アンケートの質問項目も、全部にそれをつけるのはとても大変だと思いますので、特に「よい」とか「悪い」とかをつけていただくところの、「悪い」の部分にはお入れになったらどうかなという、その2点を印

象として持ちました。

(教育政策担当課長)

教育振興基本計画自体をご存じかというアンケートに対しても、知らなかったというのは、7割ぐらいの方、市民でいらっしゃるということで、今後もリーフレット等をつくったり、『広報よこすか』に載せてまいります。また、別のアンケートですが、『広報よこすか』で知ったという方が多いということで、ほかに情報発信できるようなチャンネルがあるのかどうか、いろいろ検討はしたいと思います。

それと、もう1つ悪いという場合はその理由をとというのは、委員のおっしゃるとおりで、次回はそこを工夫したいと思います。ありがとうございます。

(森武委員)

私もアンケートについて1点お伺いしたいのですが、アンケートのところで、市民の方には抜き取りというか、住民票の中から抜き取って依頼をしてということで、回答率が低くなっているのですが、この依頼というのは、送ったときにはどういう依頼をされているかというのを簡単にご説明いただければと思います。

(教育政策担当課長)

中に1枚文書を入れて、どういう趣旨でやるというものと、いつまでにご回答くださいということは入れていると思うのですが、ほかの部局のアンケートの回答を聞いてみると、回答期日が近づいてきたときに、再度催促というとな変なのですが、はがきか何かでもう一度よろしくお願ひしますというようなこともやっているようなので、委員会としてはそれはやっていないと私は理解しているので、今後そういう、例えば、催促というとおかしいかもしれないんですけど、お出しただけのよう、もっと回答率を上げるような工夫はしたいと思います。

(森武委員)

今お聞きしたのは、市民の方というと直接、例えばお子様とか、教育に関わっている方がいなければ、もともと、余り興味のない方もおられるかもしれません。そのときにアンケートが、一般的にアンケートに答えてくださいという形で来て、それがどう生かされるとか、あるいは、先ほど齋藤委員のほうからお話があったみたいに、その結果がどういうように公表されるのですよという情報がないと、答えても何に使われるかよくわからないから、時間かけて答え

る必要はないよねという印象の方が多いのかなと思いました。これは私のイメージなんですけれども、アンケートを答えていただきたいということでアンケートすると思うので、そのあたりやはり、フィードバックをどういうふうにかかっているかというところをもう少しアンケートをお願いするときに、説明するとか、何か工夫をしていただければと思います。

(教育政策担当課長)

その辺、次回、実施したいと思います。ありがとうございます。

### 報告事項（２）『学校事故について（経過報告）』

(学校保健課長)

それでは、報告事項の（２）「学校事故について（経過報告）」についてご説明いたします。

本件は８月１６日の本教育委員会臨時会でご報告いたしました、学校事故につきまして、負傷生徒の保護者から損害賠償請求がありましたので、示談前ではありますが、療養に必要な経費の一部を損害賠償金の内払として、お支払いさせていただきました。

支払いの時期、及び金額はそちらに記載のとおりで、平成２５年８月、１８万２,０００円でございます。

今後も、学校と連携して誠意を持って丁寧に対応してまいります。

なお、本件につきましては、現在開会中の第３回市議会定例会、教育福祉常任委員会に報告させていただきました。

以上で、「学校事故について（経過報告）」の説明を終わります。

(質問なし)

### 報告事項（３）『全国・関東大会結果報告について』

(スポーツ課長)

スポーツ課から、全国・関東スポーツ大会の出場選手の結果報告をさせていただきます。

中学校及び市立横須賀総合高等学校の結果について、資料にお示しさせていただきました。

資料の１ページから２ページにかけて、中学校の全国大会の結果を記載してございます。今年度は例年以上に多くの生徒が全国大会出場を果たし、好成績

を収めることができました。

中でも、柔道男子 55 キログラム級で、神明中学校の馬場元気選手が見事準優勝。陸上競技男子 800 メートルでは、追浜中学校の泉田新也選手が 6 位入賞を果たしました。

3 ページから 6 ページにかけては、関東大会の結果を載せてございます。

資料に記載しましたとおり、陸上競技、柔道、サッカーなどで好成績を収めております。

そして、7 ページには市立横須賀総合高等学校の全国大会出場結果について、お示しさせていただきました。全日制では陸上競技とアーチェリーの 2 競技で、インターハイに出場し、陸上競技では女子 400 メートルハードルで第 9 位、また、2 年連続の出場となりました、アーチェリー女子団体では、第 7 位入賞といずれも大変な好成績を収めました。

また、横須賀総合高等学校では定時制においても、運動部活動が大変盛んであり、今年は 3 競技で全国大会出場を果たしております。

スポーツ課からは、以上でございます。

(質問なし)

#### 報告事項 (4) 『特別展示「宝石虫の輝き」について』

(博物館運営課長)

それでは、私から平成 25 年度の博物館特別展示、「宝石虫の輝き～寺林コレクションのタマムシたち～」を開催していることをご報告させていただきます。

この特別展示は今月 14 日から開催しております。この内容は、平成 20 年に寄贈された、日本と世界のタマムシ類の標本約 2,100 点をもとに、美しい輝きや色を持つ昆虫標本や画像を紹介するものです。

このタマムシ類の標本コレクションは、平成 20 年に逝去された、寺林健さん収集の標本で、約 700 種もの美しく、そしてさまざまな色を持ったタマムシ類からなっています。

今回の展示では、このコレクションを核にして、日本と世界のタマムシ類、タマムシ以外の甲虫や蝶など美しい昆虫、標本を見やすい大きさに拡大した画像などを展示いたします。

会期は 9 月 14 日から来年の 1 月 13 日までで、10 月 2 日にはタマムシ類の分類研究で著名な、大桃定洋氏の講演会、11 月 2 日には当館学芸員による展示解説も予定しています。

資料で、展覧会のチラシをつけておりますので、後ほどごらんいただきたい

と思います。

以上で平成 25 年度の博物館特別展示に関する報告を終わります。

(森武委員)

1 点、個人的な興味でお聞きしたいのですけれども、タマムシの収集ということで、非常に私も興味があって、ぜひ行きたいと思っているのですけれども、この展覧会の中で、例えば、こういう虫たちがなぜこのような色が出るかとか、そういうような、どちらかという昆虫の学問というよりは、科学的な視点で何かそういうことを展示などされてるのかをお聞きしたかったのですけれども、お願いいたします。

(博物館運営課長)

今の委員のご質問の内容については、展示の中ではやっておりませんが、展示解説の中でどうしてこういう色が出ているのかとか、構造色であったり、構造色というのは細かい毛が表面に生えていて、それが光の反射によっていろいろな色に見えるというのが主なものですけれども、そういうような説明を展示解説の際には交えて、話をする予定ですが、具体的に電子顕微鏡で拡大してこうなっているから、色が角度によって見えるのだとかいうことを具体的に展示したものは用意してございません。

(森武委員)

今まさに、ご説明いただいたみたいに、構造色ということで、私たまたま、研究している対象の中で構造色というのがあって、必ずこのタマムシの話が出てきて、今まさにお話があった電子顕微鏡の微細構造で、こういう虫たちがなぜこういう金属のような光沢を出すのかというような、これは物理というか、サイエンスの世界から見ても非常に興味のある分野ですので、今回はこういう展示ということで、非常に興味深いのですけれども、また別の視点からでも多分、物すごくおもしろい展示ができるのではないかなと思いますので、またご検討いただければと思います。

(博物館運営課長)

博物館では、どうしても今までは分類学中心、自然の分野、生物のものに関しては、分類学的なアプローチでの展示が中心になって来ていますから、今生物の世界はどちらかという、物理、化学の領域が絡んできて、興味深い知見がたくさん報告されていますので、そういうところにも突っ込んだ展示が今後できるように、研究していきたいと思っております。

報告事項（５）『横須賀美術館企画展「親子で楽しむ現代アート たいけん、ぼうけん、びじゅつかん！展」の開催について』

（美術館運営課長）

それでは、今月 14 日、土曜日から始まりました、横須賀美術館企画展「親子で楽しむ現代アート たいけん、ぼうけん、びじゅつかん！」の開催について説明させていただきます。

恐れ入りますが、お手元の資料、報告事項（５）をごらんください。

1、展覧会名から、2、会期まで記載のとおりでございます。

3、観覧料ですが、この展覧会でも市民への感謝としまして、地元割を実施いたします。実施日は9月28日及び10月5日、両日とも土曜日でございます。この両日は通常一般の方が800円となっておりますが、市民の方はワンコイン、500円で観覧になれます。

5、概要でございますが、本展覧会は横須賀美術館の企画展としては初となる、参加体験型の展覧会になります。大人も子供も楽しめる大型のテーブルサッカーや映像など「さわれる、ワクワクする作品」、中には「撮影可能な作品」もあり、小さなお子様の美術館デビューに最適な展覧会です。

日比野克彦、KOSUGE 1-16、松井紫朗、plaplax の4組のアーティストがつくり出す世界に「触れて」楽しみながら、現代美術のおもしろさを感じ、他者とのコミュニケーションや、人と美術の関係を再発見するような機会にさせていただきたいと考えております。

参考としまして、展覧会のチラシを添付しております。後ほどごらんください。

会期中は展示をより理解することができるよう、出品作家によるワークショップや学芸員によるギャラリートツアーを開催いたします。

また、子供たちがより充実した鑑賞ができるように、鑑賞ポイントなどを掲載した、ガイドなども配布いたします。

以上で、説明を終わらせていただきます。

（質問なし）

理事者報告

（中央図書館長）

中央図書館からは、中央図書館の工事に伴う休館についてお知らせいたしま

す。中央図書館では老朽化した空調設備の改修工事を施工するため、11月18日から12月2日までの15日間、全館休館させていただきます。なお、休館中は中央図書館正面に臨時窓口を設けて、中央図書館での受け取り、そして予約本の貸し出しと返却本の受け取りを行います。臨時窓口の受付時間は9時半から17時20分で、木曜日、金曜日については19時20分まで行い、月曜日は休みとさせていただきます。

このほか、読書室や視聴覚ライブラリー等については12月3日から来年3月中旬までの間に、順次休室させていただきます。その休室についての具体的なスケジュールは、今月末に工事施工業者が決定し、工事工程が決まり次第『広報よこすか』や図書館のホームページ等でお知らせする予定です。

また、駐車場につきましては、10月下旬から来年3月中旬までの間、駐車台数の約半分が使用できなくなる予定です。ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

以上です。

(質問なし)

(委員質問なし)

委員長 日程第3は、人事案件であるため、日程第4は、市長が議会に提出する案件のため秘密会とすることを宣言。

関係理事者以外の退出を求めた。

## 6 閉会及び散会の時刻

平成25年9月20日(金) 午前11時20分

横須賀市教育委員会

委員長 三浦 溥太郎